

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 消防団の魅力発信・加入促進事業

自治体名 鳥取県

消防団名

1 事業の目的

大学生等の若者に防災や消防団とその活動について興味・関心を持ってもらい、将来的な消防団への入団につなげることを目的とする。県内の消防団員数は減少傾向にあり、平均年齢は上昇傾向にあるため、若者層への働きかけが必要である。

2 事業内容

- 大学等と連携し、学生と消防団員との交流の機会を設ける。
- 学生に対し、消防団の活動体験やワークショップ等を行い、防災や消防団活動等に関する知識向上を図る。
- 防災サークルが地域住民や防災関係者等と協力して行う防災研修、防災ゲーム等の実施を支援する。
- 県内外の防災サークル間が交流・連携できる機会を設け、活動の幅を広げる。
- 企業等と連携し、地元のイベントや防災教育で、消防団の活動紹介やワークショップ等を通じて周知広報、加入促進を図る。
(地元プロサッカーチームのホーム戦でのイベント実施など)
- デジタルサイネージを活用した広域的な広報を実施することで、消防団の認知度向上及び加入促進を図る。



地元プロサッカーチームのホーム戦でのブース出展



県内3カ所のデジタルサイネージにおける消防団加入促進動画の放映

3 事業成果

大学等と連携して防災に関する講演会や防災ワークショップ等を行った結果、学生の消防・防災活動への意識の向上が図られた。

また、地元のプロスポーツチームのホーム戦における消防団PRブースの出展やデジタルサイネージにおける消防団加入促進動画の放映を行い、普段消防団に接する機会の少ない若者や女性など、広く一般県民に対して、消防団の魅力を発信することができた。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
消防団員と大学生の交流会等	開催回数	1回	0回	当初の成果指標の目標値は概ね達成することができた。 特に、各大学が防災ワークショップやイベントでのブース出展を通して、地域に対して防災啓発活動を実施し、学生に主体的に活動してもらうことができた。 大学生と消防団員が合同で研修会・ワークショップを開催することはあったが、今年度は交流会としての開催は無かった。今後は大学生と消防団の交流会を開催し、自由に意見交換する等して消防団の活動について理解を深める事のできる場を増やしていきたい。
消防団の活動体験・防災ワークショップ	参加回数	2回	3回	
学生サークル主催の防災研修・防災ゲーム等	開催回数	5回	12回	
防災サークル間の交流	開催回数	1回	4回	
企業等と連携した地元のイベントや防災教育	開催回数	1回	1回	

5 その他参考情報